



記念式典やメインイベントの開催に合わせて「おおがき」の100年を紹介

大垣市・市制施行100周年 岐阜県版で30段の特集を掲載

大垣市は、日本列島のほぼ中央に位置し、古くから東西交通の要衝として、経済・文化の交流 点として栄えてきた岐阜県第二の都市。良質で豊富な地下水に恵まれていることから「水の都」と も呼ばれている。大正7年(1918年)4月1日に誕生し、市制100周年を迎えた。

今年4月から来年3月まで、さまざまな100周年記念イベントが開催されているが、10月6日の記念式典や20~21日のおおがき未来フェスティバルなどメインイベントが開催されるタイミングで、中日新聞岐阜県版にて特集を掲載。100年にわたる大垣市のあゆみ、大垣市長などのコメント、これから予定される記念イベントなどを記事広告にまとめた。また、地元を中心とした42企業・団体より名刺広告を集稿した。

「未来を創造するまち」と「歴史文化のまち」としての「おおがき」を紹介する大型企画となった。

(岐阜支社広告部 榊原 司)



2018年10月6日付 中日新聞朝刊 岐阜県版